

はじめの一步

2017年3月28日(火) ~ 29日(水)

I N 明石市立少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	野外炊飯	キャンプファイア
2日目	清掃・浜遊び	施設を出発・解散	

一日目： おはようございます！ドキドキワクワクの二日間が始まりました。三ノ宮駅に集合し、電車を乗り継ぎ施設へ向かいました。移動中は緊張からか全体的に口数が少ない印象でしたが、昼食後のグループタイムではどのグループも笑顔で遊ぶ様子が見られました。入所式の後、部屋に入り、次の活動の準備をしました。準備が整い、野外炊飯場へ行こうとした矢先に雨が降り出しました。通り雨という予報でしたので、雨が弱まるまで野外炊飯の係や夕食の麺(うどんか中華麺)をグループで話し合い決めました。少しすると雨が止み、待ちに待った野外炊飯が始まりました。かまど係は燃料となる薪を沢山集め、火を点けました。最初はなかなか上手くいきませんでした。根気強く挑戦し、自分達で火を点ける事ができました。カレー係は包丁を使い、慎重に野菜を切りました。同じ係の友達と「このくらい大きさが大丈夫?」、「もう少し小さい方が美味しいかな?」と考えながら切っておられました。火の番を交代しながら作り進め、予定よりも早くカレーが完成しました。グループで選んだ麺にカレーをかけ、美味しそうに食べておられました。どのグループもあっという間に平らげ、片付けに取り掛かりました。カレーが付いた食器やすずで真っ黒のお鍋を懸命に磨き、暗くなる前に洗い物を終わりました。そして、一日目最後のプログラムはみんなが楽しみにしていたキャンプファイアをしました。入場時からテンションがとても高く、ゲームやダンスも大盛り上がりでした。その後、入浴や就寝準備を終えると、すぐに眠りについておられました。



二日目： 朝からシーツを畳んだり、荷物を片付けたりと大忙しです。一段落したところで朝食の時間になりました。朝食はサンドイッチとスープです。食パンにレタス、ハム、チーズを挟み、口いっぱい頬張っておられました。余程お腹がすいていたのか、サンドイッチを追加で作ったり、スープをお代わりしたりと朝からモリモリ食べました。朝食後は共有スペースの清掃をしました。ほうきや雑巾で隅々まできれいにし、施設の方のチェックも一発合格でした。そして、二日目のメインプログラムの浜遊びをする為に施設を出発しました。施設から歩いてすぐの所に海があり、みんなは広い海に大興奮でした。約束を確認し、グループごとに自由時間をとりました。砂で山やトンネルをつくったり、貝殻や海藻を集めたり、思い思いに楽しんでおられました。一時間程で飽きてしまうかなと思い、グループ対抗遊びを考えていましたが、どのグループも予想以上に熱中し、次から次へと遊びが生まれていました。むしろ後半の時間の方がグループのメンバーが自然と集まり、いきいきとした表情が見られました。浜遊びを楽しんだ後は施設に戻り、昼食を済ませました。最後に二日間の思い出を絵に描き、荷物を準備し、退所式をしました。帰り道は行きよりとても賑やかで全体解散の三ノ宮駅に着くまで笑いが絶えませんでした。



<キャンプ総括>

今年の『はじめの一步』は天候による大きな変更もなく、全てのプログラムを楽しむことができました。今回は新一年生から新五年生とグループ内で学年差はありましたが、キャンプ中はその差をほとんど感じませんでした。それは、率先して難しい役割を引き受ける高学年メンバーの姿に憧れ、年下のメンバーも「もっとやりたい!」とできる役割を探し、頑張っておられたからだと思います。また、浜遊びのような正解がない自然遊びでは、“知識”や“体力”以上に“想像力”や“ひらめき”が遊びを発展させていきます。今回の浜遊びでも面白そうな事を真似したり、思いついた事を伝え一緒にやってみたり、自分の興味から遊びや友達との関係が深まっていきました。これからは様々な違いがある中で、その違いを忘れられるぐらい夢中で楽しめるキャンプをつくりたいと感じました。

(生本 ひろみ)